

認知症の啓発のための

認知症
啓発
プロジェクト

若年性認知症当事者とともに
京都から

紙芝居とかるた 貸出中!



認知症啓発プロジェクトは、若年性認知症当事者（おれんじサロン ひと・まち）の『若い人にも認知症のことを知ってもらいたい』との思いから始まりました。令和6年度に実施した本プロジェクトでは、高校生・大学生を中心とした若い世代と認知症当事者たちが『子どもにも正しい知識を身につけてほしい』と、紙芝居とかるたを作成しました。

紙芝居

認知症がある主人公の“ニンくん”のある日の様子から…
“ニンくん”の不安な出来事を、周りの友達の温かいサポートで乗り越えるストーリーです。

対象：幼児～小学生
所要時間：10分程度

（紙芝居8枚からストーリーを組立）

かるた

みんながイメージする認知症が、正しいか。
認知症がある人の日々の生活の中での工夫や気づきから、クイズ形式で認知症を学べるかるたです。

対象：概ね小学生～
所要時間：10分程度

（かるた4組、使用手順書付）

申込みはこちらから >>>>

- 申込は、開催日の約1か月前までに申込フォームからお願いします。
 - 申込受理後、担当者からご連絡いたします。
- さらに詳しい情報は、長寿すこやかセンターホームページをご覧ください。

申込フォーム



認知症啓発プロジェクト

チームおれんじサロン ひと・まち
京都市長寿すこやかセンター／京都市福祉ボランティアセンター

kyoto
こころつながる
プロジェクト

認知症啓発
プロジェクト



長寿すこやかセンター
ホームページ



京都市福祉
ボランティアセンター
ホームページ

